

Yorgo Tloupas

ヨーゴ・トゥルーパスとモビリティ

2016.10.8 TEXT SHOGO JIMBO PHOTOGRAPH DANIELE TEDESCHI

いいね! 275

師を訪ねパリのはずれへ

DRIVETHRUをローンチする数年前のこと。我々（カエルム株式会社）は、UK発のカーマガジン『Intersection』の日本版を発行していた。しかし、猛烈な雑誌不況とウェブメディアの登場に加え、リーマンショックという経済の荒波にもまれることとなり、あえなく休刊を余儀なくされてしまった。そこでの教訓を頼りに新たに立ち上げたのがDRIVETHRUではあるのだが、今も昔も我々を影響してやまない1人の人物がいる。Intersectionのクリエイティブディレクター、Yorgo Tloupas（ヨーゴ・トゥルーパス）氏だ。現在、彼はパリを拠点にデザインオフィスを立ち上げ、今も尚、Intersection Franceと共に活動中。幸運にもGLMのEVスーパーカー『G4』の発表のためパリを訪れていた我々は、彼に連絡を入れたところパリ郊外にある自宅へ招かれることに。兼ねてから我々が師と仰ぐ、彼のリアル・モビリティライフを伺いに足早に現地へと向かった。



パリの中心部から離れたヨーゴの自宅にて。自らリノベーションしたという3階建てのアパートメントの前には愛車、ホンダ・プレリュードを駐車。後ろに見えるクラシックロードバイクが、普段のアシ。写真には映っていないが道路を面して反対側に小さな教会があり神聖な空気が漂っていた。

1 2 3



いいね! 275

« SHINYA KIMURA

Related Post



DRIVE

BIRTH PLACE

ポルシェ誕生の地へ



DRIVE

Luftgekühlt

空冷エンジンの名の下に



DRIVE

914

ドライブのために

GLM-G4

NEED MORE? SUBSCRIBE TO OUR NEWSLETTER.

kagi@suifudesign.com



Interview

Yorgo Tloupas

ヨーゴ・トゥルーパスとモビリティ

2016.10.8 TEXT SHOGO JIMBO PHOTOGRAPH DANIELE TEDESCHI いいね！ 275

今年のパリモーターショーはいかがでしたか？

多くの人はコンセプトカーやイノベーティブなテクノロジーの登場も少なく、多くのジャーナリスが歴史あるパリモーターショーは死んだとまでいう人もいたけれど、私はそんなことないと思っているよ。そう考えると、いつもデザイン感度が高いのはジェノバモーターショーだね。

いま現在のモビリティライフを教えてください。

どんな都市を訪れてもいつも自分の自転車に乗るんだ。パリにいる時は、週末にガールフレンドと街を離れる時だけクルマを使う。私にとって、もはやクルマはホビーだね。特に都市では実用的な点が必要ではないと思ってる。



あなたにとってのモビリティとはどういったものですか？

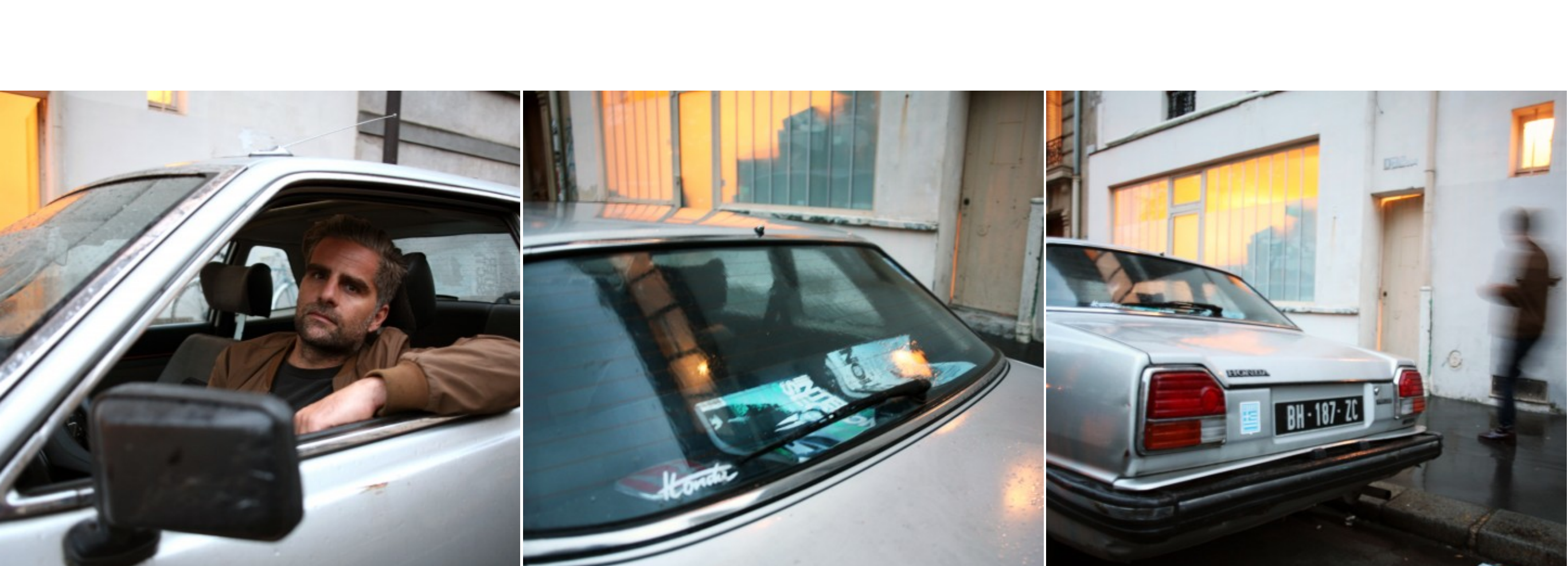
フリーダム（自由）だね。都市において、最も自由自在な移動は自転車。一方、休日はクルマ。クルマならヨーロッパを旅したり、時には大陸だって自由自在に移動できる。公共機関に頼らないで済む移動がモビリティなんだ。

未来のモビリティについて、どう思われますか？

多くの人は自転車の価値にもっと気づくと思うんだ。今ある画期的な発明に打ち勝つことはとても難しいけれど、もっとシンプルな考え方として、自転車はまずコストをかけずに移動がきでる。それに自然とエクササイズにもなる。駐車は基本的にフリーだしね。でも、もしバッテリーのテクノロジーが劇的に進化したのなら、EVがモビリティの世界をすべて一新してしまうだろう。そんな日がきたらエレクトリックのワンチャージで毎年恒例の生まれ故郷、ギリシャまでのロードトリップを楽しむに違いないよ！

現在の愛車、初代ホンダ・プレリウドについて教えてください。

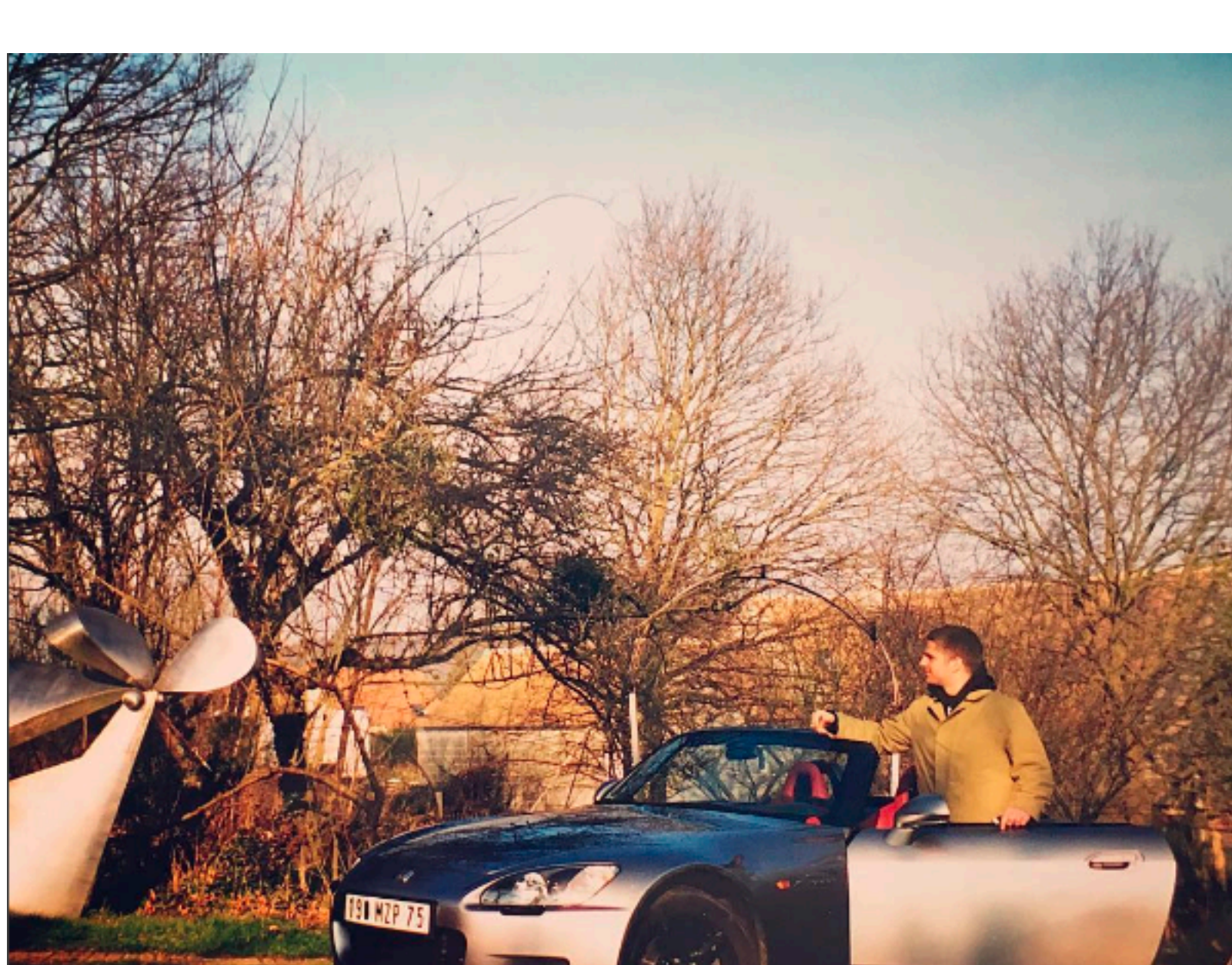
5年前にもうリタイアした年配の男性から手に入れたんだ。走行がたったの42,000kmで15万円ほど。おまけにグッドシェイプ。オドメーターが10万キロ代の目盛りがないから本当に走行42,000kmなのかは定かでないけど、メカニックがいうにはエンジンはけっこうキレイというんだ。走りもスムーズだし、古いけど故障知らずで信頼性もある。とても気に入ってるよ。それに5年間のうちに同じ型のプレリウドは見たことがない。一生、乗り続けたいと思ってるんだ。所々、ボディのリペイントが必要になって思ってる。



これまでの乗り継いできたクルマを教えてください。

すべて、H-O-N-D-A!!!!!! 初めてのマイカーは、5世代目のホンダ・シビック。シルバーのボディカラーにブラックのホイール。その後、ちょうど2000年にホンダ・S2000を手に入れたんだ。それはシルバーのボディカラーに、こっちはブラックのホイール。そして、今は初代ホンダ・プレリウド。ボディカラーはやっぱりシルバー。となるとホイールもブラックにペイントしないとだね。

あと、ホンダ・スーパーカブも持っていたんだ。フランスではスーパーカブはとても珍しく、50ccでギアシフトは公道不可なんだ。だから地元のギリシャから持ってきた。確か1996年頃だったかな。それとロンドンにいた頃、ホンダ・ズーマーをカスタムしたことがあるんだ。それはホンダUKとのプロジェクトだったけど、もうそれは手放してしまったよ。



2000年に手に入れたというホンダ・S2000。ちょうどこの頃はIntersection創刊前の準備に没頭していたはず。そんな時でもホイールをブラックにペイントしているのがわかる。写真の左に写るスクラブチャーは、ヨーゴの父、彫刻家、フィラオスの作品と一緒に。

1 2 3



いいね！ 275

◀ SHINYA KIMURA

— Related Post —



DRIVE BIRTH PLACE

ポルシェ画生の地へ



DRIVE Luftgekühlt

空冷エンジンの名の下に



DRIVE 914

ドライブのために



● ● ●

NEED MORE? SUBSCRIBE TO OUR NEWSLETTER.

kagi@sufidesign.com



DRIVETHRU

Contact

©2016 CAELUM Limited All Rights Reserved. ▼



DRIVETHRU

Interview

Yorgo Tloupas

ヨーゴ・トゥルーパスとモビリティ

2016.10.8 TEXT SHOGO JIMBO PHOTOGRAPH DANIELE TEDESCHI いいね! 275

これまで最も印象深いモビリティとのエピソードを教えてください。

2006年に『GUMBALL3000※1』に1971年式のボルシェ911 2.7 RSで参戦したんだ。その年のラリーは、ロンドンからセルビアの首都、ベオグラードを通して、その後、輸送機に載せてタイのプーケットまで飛びタイの首都、バンコクをドライブした後、また輸送機に載せてアメリカのソルトレイクシティへ飛んだんだ。その後、LAまでラリーをして完走。忘れもしない6日間のドライブだった。



GUMBALL3000のエントリーマシンは最新モデルのスーパーカーがほとんどな中、通称“73カレラ”と呼ばれる伝説のヴィンテージ・ボルシェ911で国境を超えてラリーを走破！ Photo by © GUMBALL 3000

DRIVETHRUでは、ヴィンテージスーパーカブのレースに参戦中ですが、レースに興味ありますか？

レースはとても好きさ。ちゃんとレース活動に専念したことはないけど、レーシングカーでサーキットを走ったことはあるよ。とても刺激的だった。それとは別に、過去にピストバイクで行うストリートレーシング、Alleycat Bike Racing※2 にのめり込んだことがあるよ。実は、唯一の勝利の経験は東京でのことなんだ。バイクメッセンジャーのHaiを追っかけて街内でレースをしていたんだ。最後の200mで彼はまさかの転倒をしてしまい、私は勝つことが出来たんだ。でも、どこか悪い感じがして彼に謝ったね。

もしもモビリティを作れるとしたら、どういったものを作りますか？

サーフィンとスキーのために、4x4の電動リックキャンパーバンしかない！ウェットスーツやグローブを乾かせるコンパートメントを用意して、電動のミニバイクを積んでロードトリップに繰り出すよ。もちろん、ホイールはブラックにペイントするしかないね！



Yorgo Tloupas (ヨーゴ・トゥルーパス)

Yorgo&Co. 代表

パリ在住、ギリシャ出身のデザイナー。2001年ロンドンにてRankinとDan Rossと共にカーマガジン「Intersection」を創刊。現在も同マガジンにて活動中。GQ、Vanity Fair、Libération等のリデザインその他、ラグジュアリーブランドをはじめ、アートやミュージックシーンにも深く関わっている。

※1. GUMBALL 3000

主にロンドンをスタート地点に、毎年目的地が変わって行われる国際的な公道ラリー。エントリーしているのは、クルマ好きで知られるセレブリティやインフルエンサーなど。まさに映画「キャンオンボール」の実写版。ネーミングの通り、3000マイルの距離を最新のハイパフォーマンスカーを駆って走行。毎年、スポンサーが異なりクルマにド派手なステッカーを施し大陸を横断。 gumball3000.com

※2. Alleycat Bike Racing

主にバイクメッセンジャーなどのピストバイク乗りが行うストリートバイクレース。街中で行われ、複数のチェックポイントをクリアして勝敗を決める。ただ単にスピードが速いだけでなく、路地裏や抜け道をよく知る者に軍配が上がる。

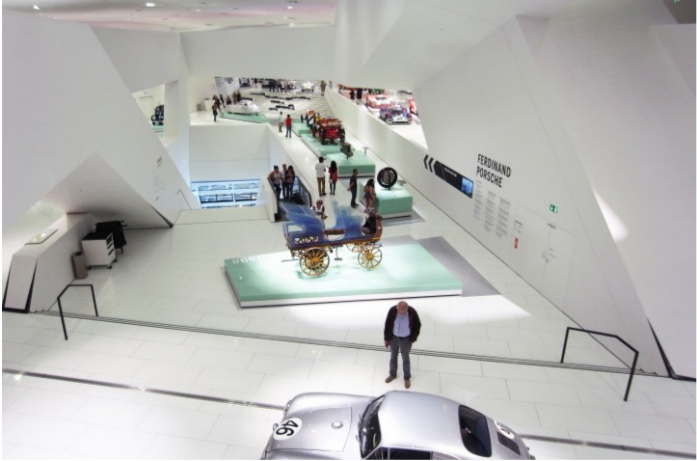
1 2 3



いいね! 275

◀ SHINYA KIMURA

— Related Post —



DRIVE BIRTH PLACE

ボルシェ誕生の地へ



DRIVE Luftgekühlt

空冷エンジンの名の下に



DRIVE 914

ドライブのために

GLM-G4



NEED MORE? SUBSCRIBE TO OUR NEWSLETTER.

kagi@suifudesign.com

